

みんなで 支えあい

地域包括ケアシステム

ひとり暮らし高齢者等の見守りに関する協定

市では、地域の高齢者等が安心して暮らせるまちづくりのため、日常業務の中で地域の「見守り」に協力する事業者と協定を結んでいます。原則として福岡県の「見守りネットふくおか」に協力している事業者との協定締結を進めており、協定書には地域の見守りに関する事業者の役割、市の役割、個人情報保護などについて定め、現在12事業者と協定を締結しています。

【協定を締結している事業者】

- ・西日本新聞 各販売店
- ・毎日新聞 各販売店
- ・読売新聞 各販売店
- ・筑紫野郵便局
- ・エフコープ生活協同組合太宰府支所
- ・グリーンコープ生活協同組合ふくおか

- ・株式会社セブン・イレブン・ジャパン
- ・九州電力 各営業所
- ・筑紫ガス株式会社
- ・株式会社出前館
- ・一般社団法人福岡県LPガス協会
- ・中央福岡ヤクルト販売株式会社

(6月末時点)

協理事業者と市の役割

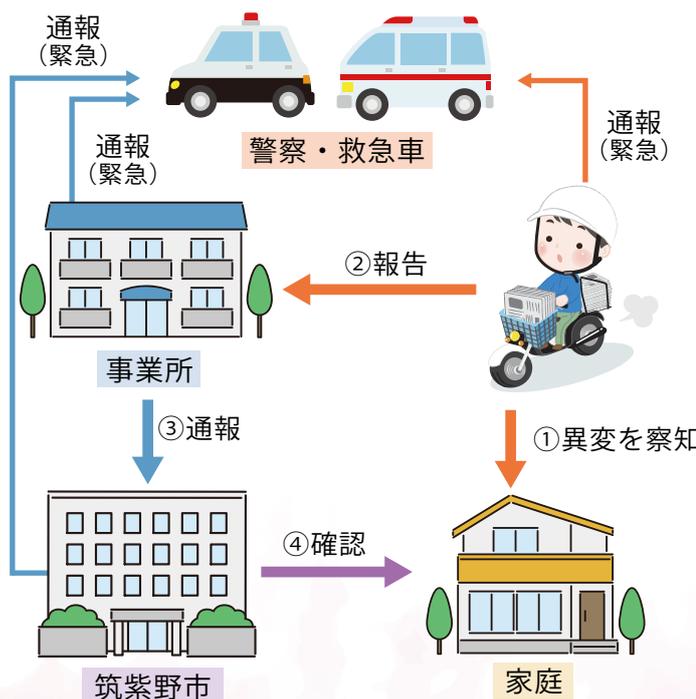
協定を締結している事業者は、業務中に高齢者などの自宅を訪問したとき、「いつもと違う」や「新聞、郵便物がたまっている」など、異変に気づいたら、市または警察、消防に通報をします。市は通報を受けたら速やかに状況を確認し、対象者に必要な支援を行います。倒れているなどの緊急を要する場合は協理事業者を

の判断で警察や救急車の要請を行います。

協理事業者の拡大に向けて

地域をさりげなく見守る人が増えることで、困ったときに助け合うことができる、安心して暮らせるまちづくりにつながります。住民同士の支え合いだけでなく、事業者の協力も支え合いのまちづくりには欠かせません。今後も見守りの啓発を継続し、協理事業者の拡大をめざします。

地域の「見守り」は、近所や自治会、福祉に関わる人だけでなく、身近な事業者によっても行われています。市では、平成26年3月から、高齢者などの自宅に訪問する機会が多い事業者と、見守りに関する協定を締結し、安心して生活できるまちづくりを進めています。今回は協定の内容や事業者と市の役割について紹介します。



「高齢者等見守り協定」のイメージ

このように、既存の活動やつながりを大切にしつつ、地域に関わるさまざまな人や団体ができる範囲で支え合う、まちづくりが広がっていく姿は、まさに地域包括ケアシステムであり、市でもこのような取り組みが広がるよう努めています。

問 高齢者支援課